

「日本国際賞にギャラガー、ペーボ両博士」

国際科学技術財団は2月4日、2020年（第36回）日本国際賞（Japan Prize）をロバート・ギャラガー（R. Gallager）博士とスバンテ・ペーボ（S. Pääbo）博士に授与すると発表した。



受賞者発表記者会見に同席したロバート・ギャラガー博士（左）とスバンテ・ペーボ博士（右）＝学士会館で

ギャラガー博士は米国籍で米マサチューセッツ工科大学名誉教授。データ通信で外部から入るノイズ(雑音)による誤りを検出して訂正する LDPC 符号(低密度パリティ検査符号)と呼ばれる方法を提案した業績が授賞理由となった。この方法は、信頼性が高く、実用面でも優れていることから、各国で導入が急がれている第5世代移動通信システム(5G)での採用をはじめ、高速大容量通信を支える技術として期待されている。



ロバート・ギャラガー博士

スバンテ・ペーボ博士はスウェーデン国籍で、ドイツのマックス・プランク進化人類学研究所教授。DNA を抽出して解析する「遺伝学的手法」により、ヒトの誕生と進化の解明に大きな成果を挙げた業績が授賞理由となった。ネアンデルタール人の DNA 解析から現生人類の祖先とネアンデルタール人が交雑していたことや、ロシアのデニソワ洞窟から発掘された骨の化石の DNA から、デニソワ人の存在を初めて明らかにした業績が有名だ。



スバンテ・ペーボ博士

授賞式は 4 月 15 日に東京都千代田区の国立劇場で行われ、両博士に賞状、賞牌と賞金 5,000 万円がそれぞれ贈られる。翌 16 日には、東京都文京区の東京大学伊藤国際学術研究センターで両博士による受賞記念講演会が予定されている。

日本国際賞は日本政府の呼びかけに応じた多くの寄付を基金として 1981 年に創設された。科学技術の全ての分野を選考対象にしており、科学技術の進歩に対する貢献だけでなく、人々の暮らしに役立つ社会的貢献も審査の対象にしているのが特徴。一昨年 2018 年には吉野彰博士、昨年 2019 年には岡本佳男博士（医薬品などの製造に応用された「らせん高分子の合成法」開発が授賞理由）が受賞している。吉野彰博士は、リチウムイオン二次電池の発明という日本国際賞と同じ授賞理由によって 2019 年のノーベル化学賞も受賞している。

日文 小岩井忠道 (JST 客観日本編集部)

#### 関連サイト

2020 年（第 36 回） Japan Prize（日本国際賞） 受賞者決定

[https://www.japanprize.jp/press\\_releases20200204.html](https://www.japanprize.jp/press_releases20200204.html)

#### 関連記事

2019 年 10 月 10 日 「吉野彰荣获 2019 年诺贝尔化学奖，日本人获奖人数达到 27 人」

[http://www.keguan.jp.com/kg.jp\\_keji/kg.jp\\_kj\\_kjdx/pt20191010095756.html](http://www.keguan.jp.com/kg.jp_keji/kg.jp_kj_kjdx/pt20191010095756.html)

2019 年 01 月 23 日 「【日本国際賞】2019 年度授予岡本佳男和拉坦·莱尔两博士」

[http://www.keguan.jp.com/kg.jp\\_jiaoyu/kg.jp\\_jy\\_gdjy/pt20190123060003.html](http://www.keguan.jp.com/kg.jp_jiaoyu/kg.jp_jy_gdjy/pt20190123060003.html)

2018 年 02 月 20 日 「吉野彰博士等 3 人获日本国際賞」

[http://www.keguan.jp.com/kg.jp\\_keji/kg.jp\\_kj\\_etc/pt20180220094911.html](http://www.keguan.jp.com/kg.jp_keji/kg.jp_kj_etc/pt20180220094911.html)

2017 年 02 月 15 日 「以色列、法国、美国的三位科学家获得日本国際賞」

[http://www.keguan.jp.com/kg.jp\\_keji/kg.jp\\_kj\\_etc/pt20170215110515.html](http://www.keguan.jp.com/kg.jp_keji/kg.jp_kj_etc/pt20170215110515.html)